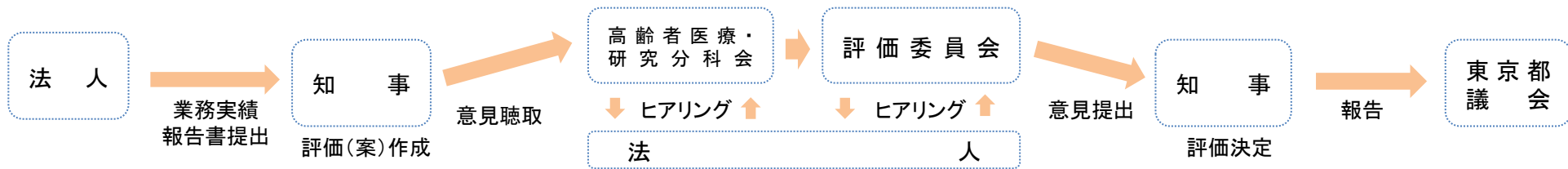


I 業務実績評価の方法

地方独立行政法人健康長寿医療センター（以下「法人」という。）から提出された業務実績報告書に基づき、知事が業務実績評価（案）を作成。東京都地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）からの意見聴取を経て、知事が業務実績評価を決定し、議会へ報告する。



II 項目別評価(案)概要

評定	二期期間案		29年度案		28年度		27年度		26年度		25年度	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
【S】目標の達成状況が極めて良好	2	10%	1	5%	1	5%	2	10%	1	5%	1	5%
【A】目標の達成状況が良好	8	40%	9	45%	9	45%	10	50%	10	50%	9	45%
【B】目標の達成状況が概ね良好	10	50%	10	50%	10	50%	8	40%	9	45%	10	50%
【C】目標の達成状況がやや不十分	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
【D】組織、業務等に見直しが必要	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

III 全体評価(案)概要

「第二期中期目標期間において、概ね着実な業務の達成状況にある」

○高く評価すべき事項

- ・3つの重点医療(血管病、高齢者がん、認知症)について、難易度の高い鑑別診断や低侵襲な治療を提供
- ・救急患者を積極的に受け入れ、24時間365日、都民が安心できる救急医療を提供
- ・病院と研究所を一体的に運営する法人の特徴を生かした研究などを進め、機序解明や臨床応用に結びつく成果
- ・糖鎖異常症に係る研究に関し日本学士院賞を受賞、難病の根本的な治療開発への活用が期待される高い成果

○改善・充実を求める事項

- ・更なる地域連携の強化、研究成果の普及・還元、内部統制の強化、収支改善への取組に期待



平成25年6月新施設に移転

IV 項目別評価（案）詳細

高齢者の特性に配慮した医療の確立と提供

評価項目		二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
ア 三つの重点医療の提供体制の充実	(ア) 血管病医療	A	A	A	A	A	S	1
	(イ) 高齢者がん医療	A	A	A	A	A	A	2
	(ウ) 認知症医療	A	A	A	A	A	A	3
イ 急性期医療の取組(入退院支援の強化)		A	A	A	A	A	A	4
ウ 救急医療の充実		S	S	A	S	S	A	5
エ 地域連携の推進		B	B	B	B	B	B	6
オ 安心かつ信頼できる質の高い医療の提供	(ア) より質の高い医療の提供	B	B	B	A	B	B	7
	(イ) 医療安全対策の徹底	B	B	B	B	B	B	8
カ 患者中心の医療の実践・患者サービスの向上		B	B	B	B	B	B	9

優れた点、特色ある点

○ 血管病医療

- ・ハイブリッド手術室を活用した低侵襲かつ効果的な治療
- ・TAVIをはじめとした、高度かつ多様な治療を提供する体制の整備

○ 高齢者がん医療

- ・低侵襲ながんの鑑別診断や治療を積極的に実施
- ・緩和ケア病棟を新設し、身体的・精神的苦痛を和らげる治療・ケアを提供
- ・がん相談支援センターを設置し、様々な相談に対応

○ 認知症医療

- ・MRI、SPECT、PET等検査を着実に実施し、早期診断を推進、診断精度を向上
- ・東京都認知症疾患医療センター、東京都認知症支援推進センターとして認知症医療の向上に貢献

○ 急性期医療の取組

- ・東京都CCUネットワークや東京都脳卒中救急搬送体制に参画し、急性期患者・重症患者を積極的に受入れ
- ・CGAに基づき、個々の患者に適した治療・早期リハビリテーションを実施
- ・地域の関係機関や介護施設等と連携した入退院支援を実施

○ 救急医療の充実

- ・救急診療体制の強化、人材育成、地域の関係機関との連携体制構築により、「断らない救急」を実践
- ※救急患者受入数：7,974人 / 9,200人 / 10,102人 / 9,860人 / 10,218人

救急患者受入数 10,000人超 (H27、29年度)

○ その他

- ・高齢者特有の疾患に対応した専門外来を新設し、専門性の高い医療を提供、在宅におけるケアを支援
- ・平成25年度の新施設移転に際し、円滑な移転を実施

更なる充実が期待される点

○ 地域連携の推進

- ・連携医療機関や連携医を着実に増やし地域連携を強化してきた。
- ・今後も、急性期病院としての役割をより果たすため、紹介率及び逆紹介率の向上を目指すなど、更なる地域連携の強化に取り組むことを期待する。

※紹介率：84.0% / 75.0% / 76.7% / 71.8% / 70.8%
逆紹介率：61.0% / 63.0% / 62.9% / 70.7% / 76.5%

IV 項目別評価（案）詳細

高齢者の健康の維持・増進と活力の向上を目指す研究

評価項目	二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
ア トランスレーショナルリサーチの推進（医療と研究の連携）	A	A	A	A	A	A	10
イ 高齢者に特有な疾患と生活機能障害を克服するための研究	A	A	A	A	A	A	11
ウ 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究	(ア) 安心して生活するための社会環境づくりへの貢献 (イ) 災害時における高齢者への支援	B	B	B	A	B	12
エ 先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発揮	S	A	S	S	A	A	13
オ 研究成果・知的財産の活用	B	A	B	B	B	B	14

優れた点、特色ある点

- トランスレーショナルリサーチの推進
 - ・テロメア長測定技術を活用した「膵臓がん悪性度診断法」の確立
 - ・高齢者の夜間頻尿を制御する「過活動膀胱抑制器具」を開発・製品化
- 高齢者に特有な疾患と生活機能障害を克服するための研究
 - ・乳がんホルモン療法の適用に係る新たな判定基準を確立し、「乳がん診療ガイドライン」に掲載
 - ・病理診断と同等の診断精度を有する「アミロイドイメージング読影法」を確立
- 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究
 - ・「自記式認知症チェックリスト」を開発
 - ・絵本の読み聞かせを通じた世代間交流プロジェクトを普及
 - ・都からの委託等により、介護予防推進支援センターの開設や「認知症とともに暮らせる社会に向けた地域ケアモデル事業」を実施
 - ・東日本大震災被災者支援プロジェクトの取組をまとめた「復興を見つめて」を刊行

- 先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発揮
 - ・筋ジストロフィー症の発症に関わる糖鎖構造を解明、ISPD遺伝子変異型の筋ジストロフィー症に対し、薬物治療の可能性を示す成果
 - ・高齢者ブレインバンクについて、病理組織のリソースセンターとして国内外の研究の発展に貢献

糖鎖異常症に係る一連の研究成果に関し、日本学士院賞受賞

- その他
 - ・法人において長年積み重ねてきた健康長寿に関する疫学研究成果を中心に「健康長寿新ガイドライン」を策定・発表

更なる充実が期待される点

- 研究成果・知的財産の活用
 - ・各種講演会の開催など研究成果の普及・還元に努めてきた。
 - ・今後も、都の高齢者医療・研究の拠点として、都施策との連携を図りながら、更なる研究成果の普及や社会還元に努めてほしい。

IV 項目別評価（案）詳細

高齢者の医療と介護を支える人材の育成

評価項目	二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
ア センター職員の確保・育成	B	B	B	B	B	B	15
イ 次代を担う医療従事者及び研究者の養成							
ウ 地域の医療・介護を支える人材の育成							

優れた点、特色ある点

- ・看護師の積極的な採用
- ・職員の専門性向上に向けた資格取得支援
- ・連携大学院から研究生を受け入れるなど、次代を担う人材を育成

更なる充実が期待される点

- ・高齢者医療・研究で培った知見を踏まえ、身近な地域の専門人材のみならず、全都的な高齢者の医療と介護を支える人材の育成を推進することを期待する。

業務運営の改善及び効率化に関する事項

評価項目	二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
(1) 地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化	A	B	A	A	B	A	16
(2) 適切なセンター運営を行うための体制の強化	B	B	B	B	B	B	17

優れた点、特色ある点

- 地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化
 - ・医療戦略室を設置し経営分析を行うなど、効果的・効率的な業務を推進
 - ・職員提案制度を活用した患者サービスの向上や経営改善
- その他
 - ・病院機能評価を受審し、全て「一定の基準に達している」との評価

更なる充実が期待される点

- ・地方独立行政法人法の改正趣旨を踏まえ、更なる内部統制の強化に向けて、体制の整備や取組の充実に努めてほしい。

財務内容の改善に関する事項

評価項目	二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
(1) 収入の確保	A	A	A	A	A	A	18
(2) コスト管理の体制強化	B	B	B	A	A	B	19

優れた点、特色ある点

○ 収入の確保

- ・平均在院日数の短縮を図りながら病床利用率を向上
 - ・新たな施設基準の取得
 - ・外部研究資金の積極的な獲得
- ※平均在院日数（病院全体）：15.8日 / 13.0日 / 12.3日 / 12.3日 / 12.1日
 新入院患者数：9,569人 / 11,576人 / 13,053人 / 13,179人 / 13,135人
 病床利用率：79.9% / 80.8% / 86.2日 / 87.4% / 85.9%
 外部資金獲得金額：7,254千円 / 7,209千円 / 6,344千円 / 8,608千円 / 10,192千円

○ コスト管理体制の強化

- ・原価計算システム、診療材料の納入価格のベンチマークシステムを導入
- ・原価計算の精度向上、後発医薬品の採用推進、材料管理の効率化等の取組

更なる充実が期待される点

- ・医療戦略室における経営分析等を積極的に活用し、収支改善に向けた更なる取組を行ってほしい。

その他業務運営に関する重要事項(センター運営におけるリスク管理)

評価項目	二期案	29案	28	27	26	25	項目番号
	B	B	B	B	B	B	20

優れた点、特色ある点

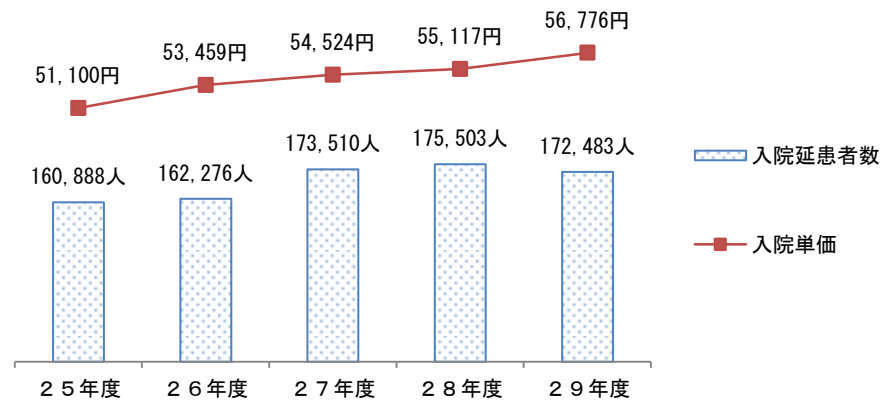
- ・情報セキュリティ・個人情報保護合同研修や標的型攻撃メール訓練の実施により、職員の意識を向上
- ・平成25年度の新施設移転時には、移転後早期に業務を安定化

更なる充実が期待される点

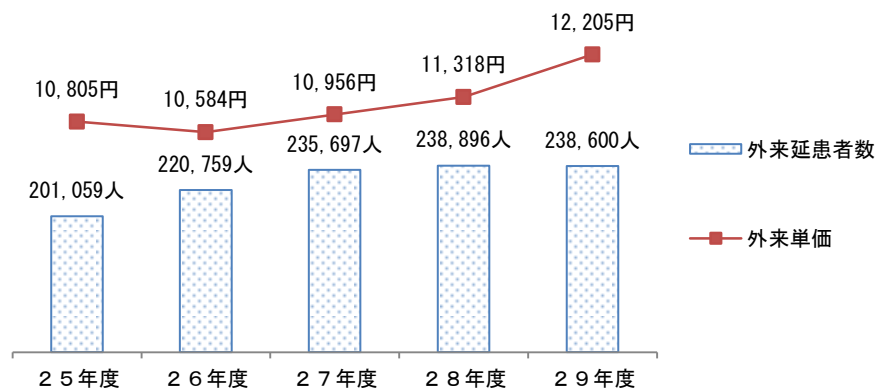
- ・近年の労働環境等に関する議論を踏まえ、職員の健康管理及び安全な職場環境の確保に向けて取り組むとともに、医療・研究機関として、情報セキュリティや個人情報保護の一層の強化に努めてほしい。

V 主要指標の推移

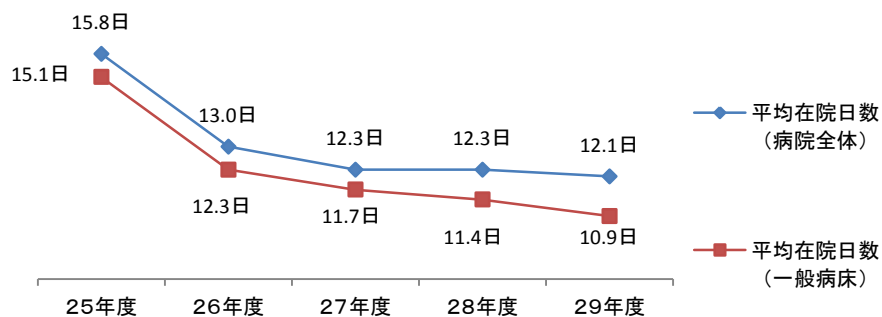
入院延患者数及び入院単価



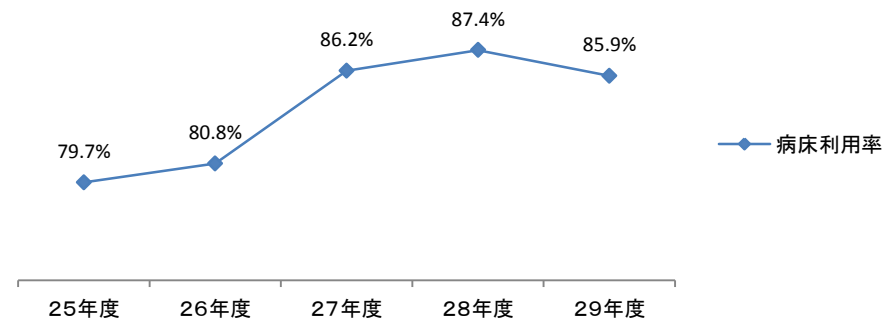
外来延患者数及び外来単価



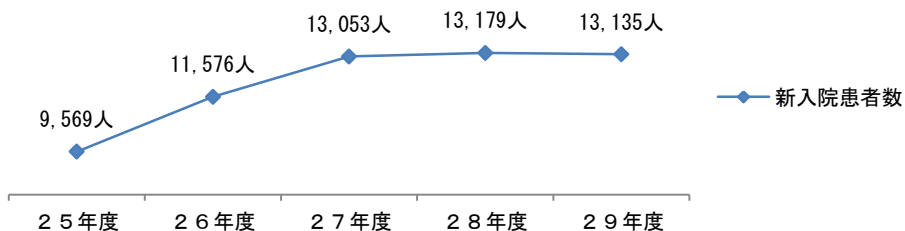
平均在院日数



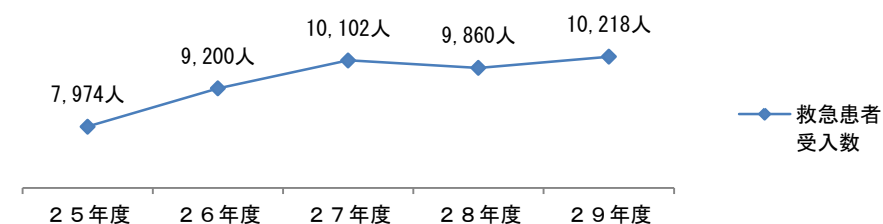
病床利用率



新入院患者数

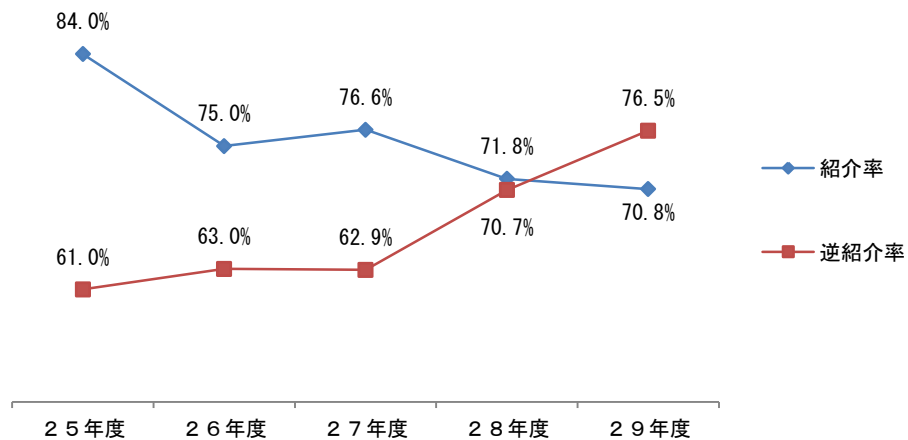


救急患者数

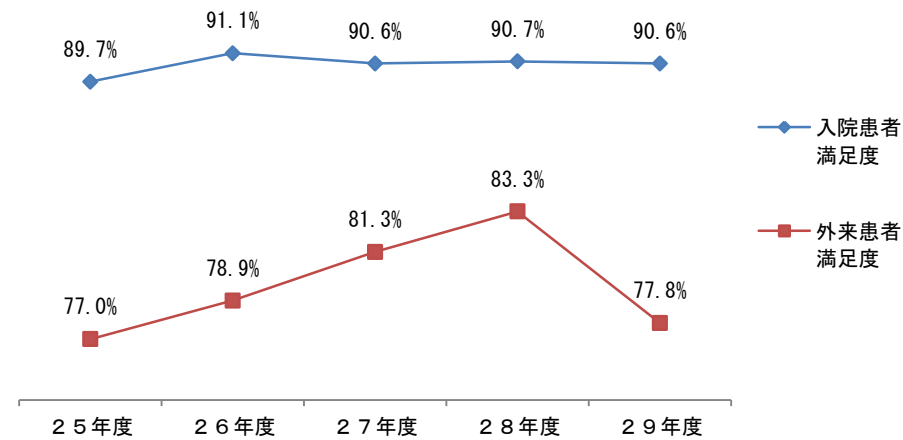


V 主要指標の推移

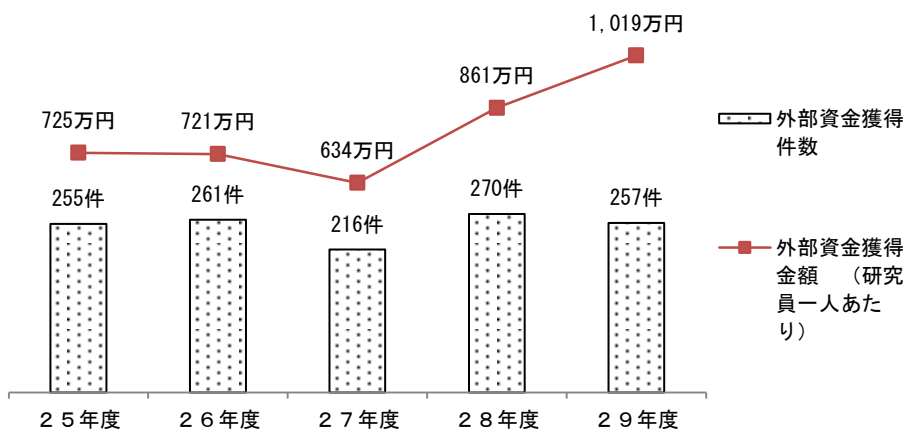
紹介率及び逆紹介率



患者満足度



外部研究資金獲得件数及び金額



論文及び学会発表数

